

この園長だより「にこにこ」では、皆さんがにこにこ「笑顔」になることを願いながら、日頃の子どもたちの様子や、私が自分の子育てを振り返って今感じていることなどをお伝えしていきます。

「やってみたくなる」きっかけ

先日、もり組は地域散歩に出かけました。道路の隅に咲いている草花に目を向けて、自分の通園路にも同じ花があることを教えてくれた子がいました。また、自分の家からこの道を通ってくると教えてくれる子もいました。親子で通う毎日の楽しさが伝わってくるようでした。

交番では、おまわりさんに伝えたいことがあるか聞くと、「大きくなったら、警察官になりたいです。」と伝える子もいました。すると、次に手を上げた子も、その次の子も、「警察官になりたい。」と、伝えていました。友達の発言を耳にして、思わず「自分も」と思ったのかもかもしれません。子ども同士が、互いに影響を受け合いながら、様々なことを考えながら自分から動き出す過程を大切に支えていきたいと感じました。

りす組では、園服のボタンをはめるときに、「鏡を見ればできるんだ。」と言って見せてくれた子がいます。「見ていますね。」と伝えると、少し時間はかかりましたが、やり遂げて嬉しそうでした。隣でボタンをはめていた子も、自分でできたことを知らせに来てくれました。

子どもたちが、「見ていてほしい。」「認めてほしい。」と思うことに応えていくと、「やってみたくなる」きっかけができそうです。子どもの言葉や動きには、その子なりの思いがあります。心を動かした場面を見逃さずに、一緒に喜んだり驚いたりしていくと、次の「やってみたい」思いにつながりそうですね。是非、子どもの行動や言葉を肯定的に受け止めたり、面白がったりして、「やってみたい」思いを引き出していきましょう。

安全な園生活のために

○「窒息の事故対応講習」より

もちや、ミニトマト、ウズラの卵、ブドウ、コンニャクゼリーなどを喉に詰まらせる窒息事故をニュースで聞くことがあります。教職員が受講した、王子消防署による研修によると、この他に、パンや肉など、どのような物でも窒息の危険があり、家庭で起きることが多いとのこと。窒息は、命に関わる事態につながります。ご家庭でも、食事の時は、必要に応じて食べ物の大きさを配慮し、自分で噛みきる、よく噛むなどの習慣を付けていきましょう。

○水筒持参時の注意

水筒を身につけているときに転び、腹部に水筒が当たって怪我をするという事例が報告されています。水筒を身につけたまま走ったり、遊び出したりすることがないように、ご家庭でもご留意ください。今後、幼稚園で園外保育に行くときは、リュック等に入れて行動します。

○学校配信メール訓練の実施について

昨年度に、学校配信メールの登録をした方は、4月から自動的に学年が上がります。未登録の方は、至急ご登録をお願いします。4月17日（水）以降、皆様のご登録後、配信メール訓練を実施します。

○こども園開設のための工事について

4月以降、園内の工事が始まります。今後、工程が決まりましたら、区関係者や業者による説明会を開催予定です。日時が決まり次第、ご連絡します。工事期間中は、安全第一に、バリケード等で工事箇所を囲む予定です。正門や、水道やガス管の工事（正門から玄関までの地面）から順に始まります。その際の自転車置き場は、園舎玄関前に変更となります。登降園や園庭開放の折には、ご不便をおかけすることと存じますが、ご協力をお願いします。